

2013年度 事業報告書

2013年度に実施した、公益目的事業及び収益事業、その他の事業は次のとおりです。

I 公益目的事業

その1 勤労者の知識・技能の獲得と向上、健康の維持を通し、就業機会の拡大と就労の維持に寄与する就業・就労支援教育事業(事業区分:講座・セミナー・育成)

講座・セミナーを以下のとおり実施しました。

1 京都労働学校事業

京都市からの受託事業で、夜間に開催、年2回9月、3月に募集。

4月及び10月から開講 6か月間 年間受講者数 785名

講座名: 労働法、労働判例、社会保険・労働保険の実務、経理・経営実務、ビジネスマナー・コミュニケーション、語学(英語、韓国語、中国語)、メンタルヘルス対策/心のセルフケア、3級FP試験対策、エクセルマクロ VBA 入門、初級ビジネスエクセル

2 府市民教室事業

京都市との共催事業で、午前・午後に開催、年4回4月、8月、11月、2月に募集。

年間受講者数 876名

講座名: 心身リセット心とからだのリラクゼーション、語学(英語)

3 求職者支援訓練事業

国の奨励金対象事業で、年2回7月と10月に募集。

簿記・経理・総務オフィス実務科の開講 年2回 1回3か月

(1)平成25年 9月開講、定員 15名、入学者 13名、終了者 10名、就職率 90%

(2)平成25年12月開講、定員 15名、入学者 15名、終了者 14名、就職率は6月末に確定

4 労働講座事業

京都府の補助対象事業で、労働団体やNPOと協働。

(1)公開セミナー(労働講座) 9月に2回及び3月に2回、計4回実施 計129名の参加

(2)労働法関連教育事業 9月、11月、12月、3月に計6回実施 計213名の参加

(3)出張講座事業(講師斡旋を含む) 年間19団体の利用、875名の参加

(4)提携講座 年間2団体と提携、150名の参加

(5)出前授業 年間32校で実施、1,227名の参加

(6)その他共催講座・イベント 年間1団体と共催、95名の参加

(7)後援・協賛講座・イベント 年間4団体の講座・イベントに講演・協賛、427名の参加

(8)講師斡旋のみ 年間4団体に講師斡旋

5 ラボール倶楽部事業

京都市からの受託事業で、パソコン教室を午前・午後で開催、毎月募集。年間受講者数 424 名

その2 勤労者に対する労働関連法知識・セーフティネット情報の普及・周知に寄与する調査・資料収集・
情報提供事業(事業区分:調査・資料収集)

1 勤労者の意識調査 (テーマを決めて年1回実施)

京都府の補助対象事業

10月に「仕事と介護の両立に向けての支援・対策のために」をテーマに実施

2 出版

京都府の補助対象事業

(1)「仕事と介護の両立に向けての支援・対策のために」調査報告書冊子の発行

(2)学園報の発行(第333号 8月10日、第334号 1月1日、第335号 3月15日)

3 情報提供(情報・資料等の収集、配架並びに配布・提供)

(1) WEB 媒体(ラボール倶楽部)

ア ラボールネット <http://www.labor.or.jp/gakuen>

イ 本学園 HP <http://www.labor.or.jp/gakuen>

ウ 京都市働く人の情報サイト <http://www.labor.or.jp/sawayaka> (京都市からの受託事業)

エ Facebook <https://www.facebook.com/kyoto.labor.gakuen>

オ ツイッター <https://twitter.com/LaborGakuen>

(2) 紙媒体等

ア 就業・就労支援情報コーナーの設置

イ 就業・就労支援パソコン(2台)の設置

ウ 資料・図書配架コーナー等の設置 (京都府の補助対象事業)

II 収益事業

勤労者の知識・技能・教養の獲得と向上を通し、勤労者の仕事と生活の調和並びに福祉の向上に寄与する教育事業

講座・セミナーを以下のとおり実施しました。

1 京都労働学校事業

京都市からの受託事業で、夜間で開催、年2回9月、3月に募集。

4月及び10月から開講 6か月間 年間受講者数 366名

講座名：日本史、哲学、京ことば・京文化、書道、実用ペン字、心とからの息抜き・朗読、読み語り朗読、菜園入門

2 府市民教室

京都市との共催事業で、午前・午後に開催、年4回4月、8月、11月、2月に募集。

年間受講者数 2,328名

講座名：書道、かな書道、篆刻・篆書、楽しいハンコ作り、生け花、失敗しない野菜とハーブ・花作り、フラワーデザイン、暮らしに癒しを！小品盆栽、京都の歴史と地名謎解き散歩、江戸古文書、戦国古文書、語り継ぎたい女性たち、古典(水曜)、古典(木曜)、幕末学ことはじめ、読み聞かせ・朗読、朗読、日本語おさらい帳、短歌、俳句、水墨画、日本画、季節を楽しむ俳画、絵手紙、ペン字、実用ペン字、パッチワーク・キルト、和裁、木版画・木彫、囲碁入門、囲碁中級・上級、なっとく科学

Ⅲ 法人関係 (園員 団体 103団体, 個人 52人)

1 園員総会(年1回)

6月6日、に公益社団法人としての第1回(通算第57回)園員総会を開催。

2 理事会(年5回)

第1回 4月25日 第2回 7月30日 第3回 10月31日 第4回 1月30日 第5回 3月14日

3 総務・事業・学校部会等

(1)総務部会 10月31日、1月30日、3月14日

(2)事業部会 6月28日、12月11日

(3)学校部会 12月3日

Ⅳ 補足事項

1 資格試験の合格者

学園の資格取得講座を受験された方のうち、本学園に報告のあった2013年度の合格者数は以下のとおりです。

(1)硬筆書写技能検定3級	3名(うち、労働学校2名、府市民教室1名)
(2)硬筆書写技能検定2級	3名(うち、労働学校2名、府市民教室1名)
(3)日商簿記検定3級	17名(求職者支援訓練)
(4)日商簿記検定2級	8名(求職者支援訓練)
(5)CS検定表計算3級	4名

2 利用者アンケートの実施

全ての講座事業において、利用者アンケートを実施しました。

3 インターンの受入れ

本年度も京都府立大学のインターンシップ制度の受入れ先として登録を行いました。学生からの応募はありませんでした。

4 本学園の認知度の向上

- (1) 京都労働者総合会館の外側に、京都労働学校受講生募集期間中設置する看板に、受講案内書を入れるアクリルボックスを設置しました。
- (2) また、事業団体の協力を得て、園員として未加入の労働組合や団体にも受講案内を送付し、広報の拡大に努めました。
- (3) 京都府・京都市に対しては、従来配架していなかった場所での配架及び各ホームページ上でのリンク等を引き続き働きかけるとともに、各労働組合のOBの会、京都府社会保険労務士会等に対しても広報協力を依頼しました。
- (4) 市バス停留所「四条御前通」での「京都勤労者学園、ラポール学園前です。」との車内放送の実施についても引き続き依頼しました。

5 園員の拡大

- (1) 「園員募集」のパンフレットを作成し、連合京都、京都総評、京都労働者福祉協議会等の協力を得て労働組合や勤労者福祉事業団体に配布しました。
- (2) 本学園で講座を担当いただいている講師陣のうち、未加入の講師に対しても園員加入を呼びかけました。

6 会計システムの整備

新公益社団法人発足に伴い、会計管理事務の流れの整備を行いました。

- (1) 会計の仕訳ルールや小口現金の取扱要領の整備
- (2) 講師謝礼の支払いを講座振込に変更・統一する等

7 学習環境・設備の整備

本年度は、以下の箇所の補修・更新を行いました。

- (1) 第3教室の老朽化した机・椅子の更新
- (2) 各教室のバーチカルカーテンの補修

8 京都労働学校「友の会」

京都労働学校友の会は京都労働学校の卒業生・修了生たちが自主的に運営している組織です。本学園としてもその運営の支援を行っています。例会は、9月29日(日)に、福井県三方五湖周辺で実施しました。世話人による会議を2回開催し、会報は2回発行されました。会議場として本学園の教室を提供するほか、会報の印刷並びに発送協力を行いました。

9 その他

京都労働者総合会館の耐震補強工事・空調設備工事の実施に伴い、本学園フロアも京都市によって同工事が実施されました。同時に、省エネ対策として、トイレの照明を人感センサーによる自動点灯化し、女子トイレへのトイレ用祇園装置(音姫)が設置されました。